

広報

社会福祉法人清豊福祉会
育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて



Gosho Nursery And Children's Recreation Center

セバスト ガチヨウ号

先月の子どもたち

まぶしい夏

笑顔はじける水合戦



No.255

9月号

2024



こども園便り 御所こども園

夏の終わり

先日、不審者対応訓練を実施し、実際に不審者が現れた場合の対応方法や園内に不審者が侵入した場合の避難方法を確認しました。最も警戒すべきなのが不審者による園内への『侵入』です。繰り返し訓練することで安心して生活できるようにしていきたいと思います。



ボランティアの受け入れ

夏休み期間中、二名の高校生がサマーボランティアに来てくれました。子どもたち一人ひとりに目線を合わせ、真剣に向き合う姿が印象的でした。今後も継続的に受け入れていく予定です。



(以上、主幹教諭 下窪)

8月生まれ誕生会

8月生まれは10名！色水を使って楽しくお祝いをしました。



給食便り

お盆の食事

お盆とは、浄土から地上に戻ってくるご先祖様の精霊をお迎えし、供養する期間です。馬に見立てたきゅうりには『早く帰ってきてください』、牛に見立てたナスには『ゆっくり帰ってください』という意味が込められています。ご先祖様が無事に戻られることを願いながら、お盆の食事を準備します。

(以上、調理員 久保)



食の安心安全

夏の食材保存の技

食材が傷む原因は、温度や湿度、微生物、酸素、酵素など様々な要素がありますが、特に夏は温度と湿度に注意が必要です。菌は三十七℃から四十℃で繁殖しやすく、湿気が多い場所を好みます。ペーパータオルやラップを使って水分や酸素を排除し、涼しい場所で保存することが効果的です。また、塩や酢を取り入れることで防腐効果を高めることができます。冷蔵庫で保存しても、作り置きのカレーや味噌汁などは菌が繁殖しやすいため、できるだけ早めに食べるか、冷凍保存をおすすめします。当園も安全な食事提供を常に心がけています。



(以上、食育グループ 松岡)

食物アレルギー研修 八月九日

鹿児島市から管理栄養士の長友ゆかり先生をお招きし、職員のアレルギーに対する知識を深める研修を開催しました。当法人では毎年アレルギー研修を行っていますが、更に最新の情報を学ぶことができました。

現在、卵の摂取が五〜六ヶ月頃から、推奨されていることや、種実類（くるみや落花生）のアレルギー増加の背景には、食の欧米化により、低年齢から微量の種実類を摂取する機会が増えていることが原因であることを教わりました。



（以上、食育グループ 山下）

健康便り

保健指導 八月八日

虫歯予防には『歯磨き』が基本ですが、今回は歯磨き以外で歯の健康を守るための三つの方法を学びました。

- ①むし歯になりやすい食べ物や飲み物、むし歯になりにくい食べ物や飲み物を知り、食べる時間や回数に注意すること
- ②よく噛んで食べること
- ③体をたくさん動かして丈夫な歯を作ること



（以上、看護師 兼廣）

安全便り

地震『訓練の大切さ』

八月八日午後四時頃、日向灘を震源とする最大震度六弱の地震が発生し、鹿児島市でも最大震度五弱を観測しました。室内で遊んでいたしやち組の子どもたちは揺れに驚きました。が、落ち着いて机の下に避難することができました。

この地震を通じて、日頃の訓練の重要性や、職員間の連携の難しさ、そして対応力の課題を実感しました。例えば、机の下に潜ることで頭を守ることができませんが、机がない場所では「ダンゴムシポーズ」を取ることが重要です。また、職員が焦ること子どもたちの不安感を煽ってしまったかもしれない、大声でのやり取りが連携を難しくしたなどの反省点がありました。今後も子どもたちの安全を守るため、訓練や研修を重ね、職員一同で研鑽を続けていきます。



☆ダンゴムシポーズ

大きな危険に背を向け、ひじ、ひざ、足の甲を床につける。



☆さるポーズ

机の下で両膝を床につけ、机の脚をもつ。体全体が机の下に収まらない場合は、頭を最優先に守る。

（以上、リスクコントロールグループ 境田）



ホッと
スナッ
プコー
ナー



こども園の2階には、大きなプールがあります。笑い声が響き渡る幸せなひとときです。



今月のテーマ『模写』

模写に挑戦しました。大好きな絵本を一冊選び、絵本を見ながら真似て描いていきます。見た通りに描く面白さと難しさを感じながら、集中して取り組んでいました。写真を撮られていることにも気づかないほどの集中力です。「オレンジってどうやって塗るの?」「難しいからイチゴだけ描いてみようかな」といった会話が飛び交い、色への興味や、簡単なものから挑戦する姿勢が育まれています。

(しゃち組担任：境田)



3 歳児
ながた りこ
永田 莉子さん

『たしざん』
青い鳥の巣を数えなが
ら描きました。

4 歳児
はらぐち みちと
原口 道人さん

『あおいめくろいめ ちゃいろのめ』
水色の目を、青と白を
混ぜて作りました。

5 歳児
たなか そうま
田中 颯真さん

『はるのたんていめいろ』
障害物をアレンジして
描きました。



3 歳児
いわいだ こはる
岩井田 小晴さん

『かまきりのちよん』
赤色とピンクは、花を
表現しました。

4 歳児
よしみつ まさき
吉満 優輝さん

『からだのみなさん』
絵本の人物の表情を真
似して描きました。

5 歳児
きたぞの すずな
北蘭 涼苗さん

『どっちがすき?』
平仮名を声に出しながら
描きました。

児童クラブ便り 児童クラブ未来

夏に伸びる子どもたち！

今年の夏は例年にならない暑さが続き、子どもたちは思うように外遊びができない日々が続きました。

しかし、そのような中でも、夕方の日差しが少し和らぐ時間を見計らって、五年生を先頭に西谷山小学校の田んぼに行き、カエルやヤゴ、ゲンゴロウの観察や採集を行っていました。彼らは、ヤゴの餌としてミミズや赤虫が適していることや、サナギになる際に登るための草や石が必要なことなど、自分たちで調べていました。また、ゲンゴロウが絶滅危惧種であることも、子どもたち同士で教え合う姿が見られました。

室内では、ミサンガ作りやクラフトテープでの籠作りに取り組み、高学年の子どもたちが低学年の子どもたちに教えながら楽しく作業していました。

この夏休み、子どもたちは長い時間を一緒に過ごし、多くの体験を共有することでお互いのつながりが深まり、成長を実感できた時間を過ごしました。



田んぼでヤゴとり



籠作り

(以上、クラブ長 高崎)

私のおすすめ

私のおすすめは、市内から車で約一時間のところにある祁答院町の藺牟田池です。直径約一キロメートルの火山湖で、水鳥やベッコウトンボの生息地としてラムサール条約湿地に登録されています。

池の周りには、約三十分で一周できるサイクリングコースがあり、家族で自然散策やボート遊び、釣りなどを楽しむことができます。二人乗り自転車やボート、釣り道具（餌付き）は近くで貸し出しています。釣った魚は外来種なので、生態系を守るために一匹十円で買い取ってくれます。また、自然について学べる施設『アクアイム』もあります。

数十年前、宮之城（現在のさつま町）に住んでいた際、小さな子ども二人を連れて何度か藺牟田池に遊びに行きました。親子で楽しみながら自然の大切さを感じ取れる、素晴らしい体験になるのではないのでしょうか。



(以上、放課後児童支援員補助 新郷)

学童新聞

2024年

夏休み特集
集り



ストラクアウトで得点を
きそいました



オリジナルのスープ
カップができました



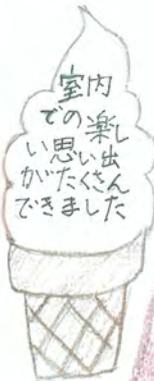
レジン、おり紙クッション
作りなどいろいろ作りました



おいしいカレーをたく
さんおかわりしました



ミニブロックでたく
さんの作品を作りました

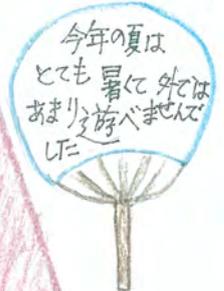


室内
での楽し
い思い出
かたくさん
できました



暑い夏を水でぼう
はねとほしました

みんなのねがい事が
かないますように!



今年の夏は
とても暑くて外では
あまり遊べません
でした



いろいろなアイデアで
工夫しました



かんまちあ
広場で思いきり
遊びました



線香花火作り
世界に一つだけの
花火ができました



科学館
地しん体けんコーナーは
こわかったです

(記者 井上・木村・川畑・鈴・東・一氏)

「なぜなぜ期」の関わり方

親コラム

2歳を過ぎると、行動範囲が広がり、身の回りのことや目にしたものに対する興味が広がります。知らないことやわからないことが多いため「なんで?」「どうして?」と質問することが増えます。これが、『なぜなぜ期』と言われる時期です。園でも2歳児の子どもが、「ゾウさんの鼻は、どうして長いの?」と聞いてきました。今回は、『なぜなぜ期』の関わり方と、それに伴う子どもの成長についてお伝えします。

なんて答えてあげたらいいの?

お母ちゃん、
ゾウさんの鼻は
どうして長いの?

なんでかな～?
どうしてだと思おう?調べ
てみよっか!!



子どもは、疑問に感じたことを何でも聞いてきます。「わからない」「知らない」の一言で終わらせるのではなく、「どうしてなんだろう?」と答えて、一緒に調べたり考えたりすることで、『知りたい』という気持ちが満たされます。

好奇心と思考力が伸びる!!

なぜなぜ期（2歳～6歳頃）の子どもは、脳の発達とともにたくさんのお話を吸収できるようになります。好奇心が高まり、思考力も伸びると言われています。大人が知りたい気持ちを満たしてあげることで、子どもの好奇心を伸ばしてあげることに繋がります。



園でも、好奇心いっぱいの子どもたちが「なんで?」「どうして?」と疑問に感じたことを聞いてきます。保育者は同じ目線になって寄り添いながら考え、子どもが自分で考えられる機会が持てるようにしています。家庭でも、忙しいときに立て続けに質問されると疲れてしまうこともありますが、親子で楽しく『なぜなぜ期』を過ごせると良いですね。

(以上、広報グループ)

今月の コラム

Gosho Baby News

このページは、御所こども園や御所季の子保育園の0、1歳児の子どもたちの様子やお知らせ、そして子育てに関する様々な情報をお届けするコーナーです！

秋のエアコンどう使う？

山を眺めると、紅葉が始まりつつある木々が少しずつ目に入るようになりました。秋の気配が漂い始めていますが、日中はまだ暑さが続いており、もうしばらくエアコンが必要ですね。小さな子どもにとって、適切な温度管理はとても重要です。今回は、身体への負担が少ない温度と湿度設定についてご紹介します。

身体への負担が少ない温度と湿度設定

- ・気温差：屋内外の気温差は±5℃以内が望ましいです。
- ・冷房の湿度設定：冷房は26～28℃に設定するのが望ましいです。
- ・昼寝時の冷房：赤ちゃんが午後の昼寝をする際は、冷房を切るか、冷風が直接当たらないようにしましょう。
- ・湿度管理：湿度は60%前後を保つように心がけてください。



園で行っている温度管理

- ・予冷：外遊び中や午睡前に予冷を行なっています。
- ・温度・湿度管理：各保育室に温度計・湿度計付き電波時計を設置し、適時確認を行なっています。
- ・換気：適度な換気を行い、空気の入れ替えを実施しています。
- ・湿度調整：加湿器を使用して湿度を調節しています。
- ・空気循環：扇風機を活用して空気を循環させています。



8月の終わりから暦の上では秋になりますが、鹿児島では気温の高い日が続く見込みです。活発に遊びながら成長する子どもたちは、自ら温度管理をすることが難しいため、熱中症や感染症のリスクを避けるためにも、エアコンを上手に活用して快適な生活環境を整えてあげましょう。
(以上、環境向上グループ)

保育園便り 御所季の子保育園

今年の夏は記録的な猛暑でした。連日、三十度を超える暑い八月でしたが、どのクラスもプール活動や泥んこ遊びを体いっぱい楽しめました。まだ暑い日が続くそうなので、水分補給をこまめに行い、活動と休息のバランスを取りながら過ごしていきます。



避難訓練出向 八月五日

郡元分遣隊から消防士の方に来て、避難訓練を行いました。消防士の方から「火事で逃げるときは、押ささない、駆けさない、しゃべらない、戻らない」ことが大切だと教えていただきました。とても良い経験ができました。



ホッと!!スナックコーナー



夕涼み会 八月三日
暑い中でしたが、たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございます。子どもたちの浴衣姿がとても可愛く、夏の思い出を皆さんと一緒に作ることができて良かったです。



(以上、主任保育士 永田)



健康便り

プール熱とは

流行する時期は、主に夏から秋にかけてです。

別名『咽頭結膜熱』ともいわれる、アデノウイルスによる感染症です。名

前の通り、咽頭炎と結膜炎を起こします。プールを介して感染することがあるためプール熱と呼ばれていますが、飛沫や経口感染によりプール以外でも感染します。



観察のポイント

- ・ 高熱が四日から五日持続することが多い
- ・ 鼻汁や軽度の咳を認める
- ・ 下痢や腹痛を認めることもある
- ・ 潜伏期間は五日から七日間

アデノウイルスには五十種類近くのタイプがあり、普通のかぜ症状だけで終わる場合も多い一方、肺炎、胃腸炎、結膜炎を起こす原因にもなります。風邪症状だけだと判断せず、症状があるときには受診しましょう。

(以上、看護師 下之蘭)



給食便り

八月の献立より

『なすのピザ焼き』

【材料】(五人分)

- なす……………五〇g
- ピーマン……………三五g
- トマトソース……………二五g
- とろけるチーズ……………一〇g

【作り方】

- ① なすは五ミリ幅の輪切りにし、ピーマンは三ミリ幅の輪切りにする
- ② 鉄板にクッキングシートを敷き、なすを並べてトマトソースを塗り、ピーマンを乗せて、チーズを散らす
- ③ 一八〇度に予熱したオーブンで、アルミホイルを被せて五分ほど蒸し焼きにする
- ④ アルミホイルを取り、チーズに焦げ目がつくまで五〜一〇分ほど焼いて完成



(以上、調理員 百枝)

G.K.M編集局

Gは御所のG。Kは風の子のK。Mは季の子、未来のM。
ここでは、各施設に関する様々な情報をお送りいたします。



『食』を通じた地域とのつながり



徳留様『鹿児島真砂町店』



今年七月より、株式会社セブン・イレブン・ジャパンが新たに子ども食堂支援の取り組みを開始しました。この活動は、鹿児島県内の加盟店オーナーに呼びかけ、店舗での入れ替え商品を子ども食堂に寄贈する活動です。

こども食堂『農の子』では、鹿児島真砂町店および鹿児島東郡元町店と連携し、売れ残り商品や値下げ商品を提供していただいています。

これらの商品は、子ども食堂の食材として使用するほか、来店した子どもたちに提



古垣様『鹿児島東郡元店』



供しています。実際に商品を受け取った子どもたちは、とても嬉しそうな表情を見せていました。

この活動を通して、当食堂では鹿児島子ども食堂ネットワークを介し、これまでさまざまな企業や団体とつながりを深めています。今後も、食を通じた地域とのネットワークをさらに広げるとともに、子どもたちのためのよりよい居場所を作れるように、積極的な活動を続けていきたいと思います。

(以上、調理員 百枝)



次回予告

日時：令和6年9月7日(土)
18時～20時
場所：御所季の子保育園
(鹿児島市新栄町 26-31)
駐車場有
料金：高校生以下無料
大人 300円

編集後記

まだまだ暑い日が続いていますが、朝晩は少しずつ涼しくなり、過ごしやすくなってきました。

八月八日には、宮崎を震源地とする地震が発生し、鹿児島県でも大きな揺れを感じました。私は地震発生時、自宅にいましたが、洗濯物や家具が揺れてとても怖かったです。こども園のお友だちも、机の下に避難したり、逃げる準備をしたりしたと聞きました。実際に私も怖くなり、防災グッズを買いに行きましたが、防災グッズや備蓄用品は売り切れが多いようです。今、世の中が防災に敏感になっている中、私も備えを万全にしたいと思います。

次回のセバストガチョウ号もお楽しみに！ (前田)

